

看護こうち

No. 165

2025年1月

Kochi Nursing Association Official Newspaper

●発行所：公益社団法人 高知県看護協会 高知市朝倉己825-5 TEL 088-844-0678 FAX 088-844-0053
URL <http://www.kochi-kangokyokai.or.jp> Eメール info@kochi-kangokyokai.or.jp

●発行責任者：藤原房子

会員数 5,818名

保健師 110名

助産師 145名

看護師 5,363名

准看護師 200名

(2025年1月1日現在)



写真提供：土佐神社

「令和7年度継続のお知らせ」は届きましたか？
年に1度の大切なお知らせです。必ず内容をご確認ください。

特集

職能委員会、地区支部活動報告
見て見て、うちのユニフォーム。ここがポイント Part II

公式LINE
お友達募集中！



高知県かんごちゃん



公益社団法人高知県看護協会

新年のご挨拶

公益社団法人高知県看護協会
会長 藤原 房子



新年、明けましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えのこととお喜びを申し上げます。

また、日ごろは当協会事業の推進にご支援・ご協力をいただき深く感謝申し上げます。

さて、日本看護協会は、2040年に向け、新しい「看護の将来ビジョン」を今年6月に公表するよう検討を進めています。2040年の社会、医療、看護のすがたを描き、看護がめざすもの、あるべき看護の実現に向けた方向性が示されます。高知県は全国に先行して少子・高齢化、人口減少が急速に進んでおり、保健、医療、福祉を取り巻く多くの課題を抱えています。少子化については、令和5年の出生数は3,380人と前年より341人減少しています。さらに周産期医療を取り巻く状況は、産科医師の減少等に伴い、分娩ができる施設の減少など厳しい状況になっています。このような中、助産師の果たす役割はますます大きくなっています。今後、安心して子どもを産み育てられることを目指して、県や関連団体と連携して取り組んでまいります。

また、県内の多くの施設で看護職、看護補助者の人材確保が困難な状況となっています。高知県ナースセンターでは、昨年からは看護職に加え、看護補助者の就業支援を開始しています。今後も引き続き、ハローワーク等と連携し、看護職、看護補助者の確保・定着に取り組んでまいります。

昨年5月、日向灘で発生した地震により、宿毛市では震度6弱を観測しましたが、幸い人的・物的な大きな被害がなく安堵しました。さらに昨年8月には、日向灘でマグニチュード7.1の地震が発生し、初めて「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）」が発令されました。南海トラフ地震は、今後30年以内に70～80%の確率で発生すると予想されており、災害に備えた対応が喫緊の課題となっています。

昨年4月の感染症法及び医療法の改正に伴う新たな災害支援ナースの養成研修は2年間で111名が修了し、厚生労働省により災害支援ナースとして登録されます。今後も、引き続き災害支援ナース、地域災害支援ナースの育成に取り組むとともに、県や市町村、地区支部等と連携した災害への備えに取り組んでまいります。

当協会では、これからも看護の質の向上をめざして、さまざまな場で活躍できる看護人材の育成に向けた研修を開催します。本年も会員の皆様にご協力を頂きながら事業を進めてまいります。引き続きよろしくお願い申し上げます。

令和7年の干支は「巳」、「再生と変化」を意味し、また新しいことが始まる年ともいわれています。当協会も様々な変化に対応し、前に進んでいきたいと思っております。

今年が平和で穏やかな年になりますよう会員の皆様のご健勝とますますのご活躍をお祈りして、年頭のご挨拶といたします。

令和
6年度

受賞おめでとうございます

高知県功労者表彰（保健衛生関係）受賞

高知大学医学部看護学科教授
（高知大学医学部附属病院前看護部長）

多田 邦子 様

高知大学医学部附属病院の看護部長として特定行為研修指定研修機関の認定に寄与されるとともに、感染管理認定看護師教育課程を開講するなど、看護人材の育成に貢献されました。受賞、おめでとうございます。



令和7年度 高知県看護協会
奨学金（給付型）の募集が始まります。

【応募資格】

1. 看護師養成所2年課程奨学金
 - ① 看護師養成所2年課程に在籍し、令和7年度に2年次に在籍すること
 - ② 高知県内の医療機関や福祉施設等に勤務し又は勤務予定であること
2. 専門看護師教育課程奨学金
 - ① 保助看法による保健師・助産師又は看護師の免許を有していること
 - ② 専門看護師教育課程に在籍し、令和7年度に2年次に在籍すること
 - ③ 高知県内の医療機関や福祉施設等に勤務し又は勤務予定であること

【応募受付期間】

令和7年2月3日（月）～2月28日（金） 必着

応募資格、応募方法等の詳細は、当協会ホームページをご覧ください。ご応募お待ちしております。

職能委員会活動のご紹介

保健師

保健師職能委員長 窪田 純子

保健師職能委員会では、全世代型地域包括ケアシステムの構築に向けて、保健師職能がそれぞれの立場で関与し、発揮ができるよう、顔の見える関係づくりをし、システム構築に向けて、他職能とも課題を共有しながら、保健師職能としてのマインドや役割を明確にしていく事を目標に取り組んでいます。

特に、保健師同士が日頃の悩みや日々感じている課題を共有し合うことをとおして、県や市町村だけでなく、医療や職域も含めた保健師のネットワークを強化していきたいと考えています。

保健師職能委員会の活動は、広報紙「ほっとつと」でも年3回発信しています。今年度からは各職場の統括保健師の皆様にもメールでお届けしていますので、ぜひ、職場の皆さんと共有しながら「保健師」を語るきっかけにもらえると思います。



協会ホームページにも掲載しています。トップ画面を下にスクロールするとバナーがあります。



発行(月6回) 2024年12月
高知県看護協会
保健師職能委員長
〒780-0809
高知市原島日本25-1-5
TEL: 088-844-0839
FAX: 088-844-0553

新任保健師交流会を開催しました！

10月19日(土)に、採用4年目までの新任の方を対象にした交流会を開催しました。これは、新任保健師の交流を深め、今後の相互の学びの機会につなげることを目的に、年1回実施しています。高知・幡豆の2つの会場で実施し、今年度は、初めて3名の産業保健師の参加があり、他は市町村5名、福祉保健所6名の合計14名の方の参加がありました。



助産師

助産師職能委員長 嶋岡 暢希

私たち助産師職能委員会では、高知県助産師会との共催で助産師交流会を毎年開催しています。令和6年度は「助産師が実践する『いのちの教育』—『いのちの教育』を通して助産師の輪をひろげよう」というテーマで開催しました。会場には若手助産師から中堅・ベテラン助産師、性教育に関心のある看護師、保健師の参加もあり、性教育を通じた新たな出会いや交流が生まれました。助産師による地域の小・中学校等での性教育はニーズも高く、将来の妊娠・出産・子育て期にある対象のウェルビーイングにもつながる重要な助産師活動の一つです。若者の性のあり方も多様化しており、性・生殖に関する健康課題も複雑になってきています。施設・職種をこえた連携により「いのちの教育」の活動が益々発展することを願っています。



助産師交流会

看護師

看護師職能委員長 岩崎 美幸

看護師職能委員会では、新人看護師を対象とした「多施設新人看護師交流会」と高齢者への看護ケアを習得する「はじめてのACP」、「高齢者の終末期看護(ELNEC-JG)」を開催しました。多施設新人看護師交流会には、8施設から20人の新人看護師が参加しました。研修の目的は、新人看護師が多施設の新人看護師と交流し、お互いの悩みや想いを出し合いリフレッシュすることです。今年度は、4施設の先輩看護師から新人看護師に録画でエールを送っていただきました。交流会に参加した新人看護師から様々な意見がありました。

高知県内に就職した新人看護師が、県内で定着できるよう次年度も多くの施設から参加をお願いします。



多施設新人看護師交流会

令和6年度地区支部活動報告

9つの地区支部では、地区支部連絡会議において企画立案しながら、地域のつながりを大切にしながら様々な取り組みを展開しています。

室戸・安芸地区支部

支部長 安芸市健康介護課 国藤 美紀子

室戸・安芸地区支部は、地域とのつながりを大切に積極的に活動に取り組んでいます。11月17日はお天気も良く、「まちの保健室」コーナーを2市村で行いました。久しぶりの開催となった「芸西フェスタ（健康福祉まつり）」に芸西病院、やわらぎスタッフ4名、ボランティア1名が参加し、健康相談とアロマオイルを使用したハンドマッサージには、53人の利用があり好評でした。「あき元気フェスタ」にはあき総合病院スタッフ5名が参加し、看護師白衣体験10名、妊婦体験3名、赤ちゃんのお世話体験6名、ヨガ32名で楽しくふれあいました。地域の身近な看護職に興味を持ってもらう機会となり、今後もこのようなイベントで交流を増やしていきたいと感じる貴重な経験となりました。

2月2日（日）9：30～12：30は、あき総合病院やまのホールで多職種事例検討会を予定しています。皆様のご参加をお待ちしております。



芸西フェスタ



あき元気フェスタ

土佐山田・本山・南国地区支部

支部長 高知大学医学部附属病院 小笠原 美和

東部2地区は、今年度、香南市高齢者クラブ運動会・香美市福祉体育大会の救護、事例検討会および地域災害支援ナース育成研修会【基礎編】を開催しました。事例検討会では昨年同様にかん看護専門看護師を講師に、『ACP（アドバンス・ケア・プランニング）』の講義・事例検討、「もしばなゲーム」を実施しました。参加者は6施設12名で、前年度の要望を受け認知症が進行している患者への意思決定支援について意見交換しました。

さらに今年度は、香南市災害時医療救護計画検討会へ出席し、地区支部内の看護師が香南市災害時医療救護訓練（急性期以降の救護所における一般診療と薬の投与、医薬品在庫管理の訓練）に参加しました。市役所職員、調剤薬局の薬剤師、医療職（医師、看護師）、消防等が参加し、災害処方箋の作成、調剤、薬剤の要請などを訓練しました。

地域からの期待が高く、今後も可能な範囲で地域に寄り添い活動していきたいと考えています。



香南市災害時医療救護訓練



地域災害支援ナース育成研修会【基礎編】

高知市西地区支部

支部長 訪問看護ステーション生協れいんぼー 池田 有加

約6年ぶりに「まちの保健室」をイオン高知旭町店で開催しました。来場者は「健康」を意識している方も多い一方で、「一人暮らしで会話をするのがないので、話ができ嬉しい」と話す方もいました。今後も、地域住民の健康づくりや健康意識の向上等に寄与しながら、安心して話することができる場の提供を続けていきます。

また、学習企画では、北地区と合同で「地域災害支援ナース育成研修【実務編】」を行いました。今回は、発災時の看護活動の実際や基本原則CSCATTTについて、トリアージ等演習を行いました。昨年学んだ【基礎編】と合わせて、「その時」のために今からできることを深めることが出来たのではないかと思います。また、11月に開催した「多職種事例検討会」は、多職種の参加があり、より活発で幅広い意見交換が出来ました。

今後も、皆様の要望に即し、地域への貢献、看護職の啓発活動を展開していきたいと思っております。



まちの保健室



地域災害支援ナース育成研修



多職種事例検討会

高知市北地区支部

支部長 愛宕病院 山中 美智子

北地区支部では、7月に高校生を対象とした「第78回ボランティア研修会～福祉体験スクール～」に参加しました。研修会は、西地区と合同で行い、7月に「地域災害支援ナース育成研修【実務編】」を開催。9月には高知赤十字病院急性重症患者看護専門看護師、上級臨床倫理認定士の井上和代氏を講師に、「事例から考えるアドバンスケアプランニング～患者の希望を叶えていくための病院と地域連携～」と題して、ACPの基本的な考え方や具体的な方法について実例を交えた内容の研修を行いました。59名の参加があり、人生において大切な「価値観」や自分自身の「あり方」等、様々な気づきを得ることができ、非常に有意義な研修になりました。11月に開催した事例検討会は、29名が参加。グループディスカッションでは、多職種連携の必要性を痛感しました。今後も支部及び地域の皆様のニーズに対応できるように取り組んでまいりたいと思います。



ACP研修会
（会場：高知赤十字病院）



もしばなゲームカード

高知市南地区支部

支部長 潮江高橋病院 山村 菊美

新型コロナウイルス感染症で開催できていなかった支部の活動を開催できるようになり、まちの保健室を、5月12日(日)に灘漁港で行われた「よこせと海辺のにぎわい市」にて、5年ぶりに再開することができました。

当日は、悪天候になる予報でしたが、午前中は雨に降られることもなく、血压測定、体脂肪測定、健康相談を準備しました。各施設から11名の看護師の参加があり、来場者の中から34名の血压測定、12名の体脂肪測定ができ、コミュニケーションが取れました。呼び込みをしましたが、天候も影響して、過去に比べ看護協会のブースに立ち寄り人数は、少なかったようです。午後には雨が降り始め、1時間繰り上げて終了しましたが、明るい雰囲気での開催となりました。今後も地域に看護協会を知ってもらえる活動をしていきたいと思います。



まちの保健室

高知市東地区支部

支部長 高知医療センター 畑山 峰

高知市東地区支部では、8月25日に高知市南地区支部と合同で高知県立大学竹崎久美子先生と高知医療センター岡崎啓氏、DMAT 2名を講師として「地域災害支援ナース育成研修【基礎編】」を行いました。今年は年始早々の能登半島地震発生や8月に南海トラフ地震臨時情報が初めて発表され、災害に対する意識の高まりもあり52名が受講されました。竹崎先生と岡崎氏の講義のあと、受講者が医療者役と傷病者役となり、地震発生によりショッピングモールで傷病者が生じたことを想定し、緊急度や重症度をSTART法を用いてトリアージ訓練を行いました。傷病者役の受講者による危機迫る演技によりリアルなトリアージ訓練ができました。また、研修終了時には、講師である岡崎氏やDMAT隊員のトリアージのデモンストレーションを見学させていただきました。今後発生するとされている南海トラフ地震に備え、研修での学びを各施設で普及させていただきたいと思いました。



高知医療センター講師



トリアージ訓練

吾川・佐川地区支部

支部長 白菊園病院 前田 宙美

吾川・佐川地区では、地域災害支援ナース育成研修【基礎編】(土佐市民病院)、多職種事例検討会(須崎市民文化会館)、保健・福祉・医療実践発表会(須崎市民文化会館)を須崎・窪川地区と合同開催しました。多くの皆様に参加していただき充実した研修会となりました。参加者の皆様や講師の先生方、運営に関わっていただいた方々に感謝しております。

また、コロナ感染症の影響で中止となっていたまちの保健室を再開することができました。佐川町のとかのたらふく秋まつりでは、初めての参加でしたが、たらふく祭りの名前の通り、多くの地元飲食店の出店があり、よさこい祭りやバンド演奏など盛りだくさんの会場でした。主に健康ウォーク前後の参加者38名の健康チェック(血压・SPO₂測定)を行いました。

2月には、歴史ある仁淀川町の秋葉まつりのお練りに救護として参加する予定です。まちの保健室で、地域の健康支援に貢献できればと思っています。次年度も継続して研修会の開催や地域貢献を行っていきたくと考えています。



須崎・窪川地区支部

支部長 栲原病院 川上 光恵

須崎・窪川地区支部の活動として、上半期は9月21日「地域災害支援ナース育成研修【基礎編】」と10月26日「多職種事例検討会」を吾川・佐川地区と合同で開催しました。そして12月14日に合同研修「保健・福祉・医療実践発表会」を須崎市民文化会館で開催し、各施設から67名の多職種の方に参加していただきました。まず初めに「能登半島地震におけるDMAT活動報告」と題して、高知医療センターの盛賞篤史医師と同センターの西谷小夜子看護師に講演をいただきました。医師と看護師の目線から、実際に行われたDMATの活動やこれから起こりうる災害に備えることの具体をお聞きしました。また7演題では各施設の取り組みの発表があり、活発な意見交換ができ有意義な情報交換の場となりました。今後も各施設とのつながりを大切にし、取り組んでいきたいと思います。



保健・福祉・医療実践発表会

幡多地区支部

支部長 四万十市立市民病院 渡辺 七美

事例検討会(がんターミナル)を皮切りに、四万十川ウルトラマラソンへの救護看護師23名の派遣、幡多看護専門学校での看護フェア in HATA、地域災害支援ナース育成研修を開催することができました。

地域災害支援ナース育成研修では、幡多地区の地域災害支援ナースとDMATを講師に迎え、【基礎編】・【実務編】の同日開催となりました。【基礎編】では、日頃からの地域の方々との関わりや避難訓練の様子を聞くことができました。【実務編】では、2次トリアージの実際や避難所でのエリア設定など、ファシリテーターにアドバイスをもらい、グループワークにてアイデアを共有しました。8月には「南海トラフ地震臨時情報」が初めて出され、また研修前日の11月9日には一部地域において大規模停電が発生しました。その際の対応や見つかった課題なども出され、有意義な研修となりました。

幡多地区支部として、地域医療そして災害医療にも強い地域づくりに貢献できるよう、今後も活動していきます。



看護フェア in HATA



地域災害支援ナース育成研修



見て見て、うちのユニフォーム。

ここがポイント Part II

高知県厚生農業協同組合連合会 JA高知病院
看護部長 岡崎 尚子

2024年10月にユニフォームを変更したばかりです。たくさんのユニフォーム会社の方が来てくださり、他施設のユニフォーム導入の工夫なども聞かせていただきました。それらを参考に当院も「日勤、夜勤で色分けしようか。」「今まで上下白色なので今回は違う色にしたい。」など様々な意見が聞かれました。約1か月の検討の結果、職種別、看護部の中でも役割別で色分けしました。最終的には看護師は白が基調の方が患者さんは分かりやすいという意見になりました。今後も多職種と連携し地域を支える病院となれるよう取り組んでいきます。



特定医療法人仁泉会 朝倉病院
統括看護師長 上村 美恵

昨年の4月にユニフォームを一新しました。各部署で話し合い、デザインや機能性・動きやすさを考慮して選びました。また、どの年代でも似合うようなものを、と考え現在のユニフォームになりました。今までは白を基調としたものですが、今回は上着に紺を基調としたものを選び、イメージチェンジにつながっています。新しいユニフォームでこれからも患者さんのケア向上に向けて、取り組んでいきます。



医療法人社団晴緑会 高知総合リハビリテーション病院
看護部長代行 竹村 聡史

当院では2024年4月からユニフォームの色を変更しました。看護師はワインレッド、介護士は水色とピンクのスクラブを着用しています。スクラブは着心地がよく動きやすく、職員から好評です。以前の制服と比べて、一目で他職種と区別がつくようになりました。患者、家族からも分かりやすくなったとの声をいただきます。

水色、ピンクは安らぎと癒し、ワインレッドには情熱、冷静といった青色と赤色のいいところ取りの意味があるそうです。頼りがいや優しさ、安心感を看護、介護ケアだけでなく、ユニフォームからも表現しています。



医療法人互生会 筒井病院
看護部長 三浦 節

当院でも職種別にユニフォームを選んでおり、患者様に分かりやすいようにしています。人気投票でどの年代や男女でも似合うようアースカラーの自然でやさしい色に決定しました。

サイド開きなので着脱しやすくストレッチ素材で動きやすく機能的です。

カラフルなユニフォームは個性的・活動的で憧れますが、平均年齢が少し高め当院では落ち着いた雰囲気と安心感を売りにして日々頑張っております。(モデルは新人さん中心です！)



「看護管理者支援事業」に参加して

医療法人博愛会 横浜病院
看護部長 辻野 美樹

私は、今回の看護管理者支援事業に参加し改めて自施設の課題に向き合い、データを分析し、目的・目標を明確にして計画的に取り組みを進める一連のプロセスを学ぶことができました。県内外のアドバイザーの支援を受けることで、気づきを得られ、やる気を保てた貴重な体験でした。業務との並行で大変な部分もありましたが、管理者としてこれからも多様な課題に取り組んでいく際の考え方や手法を学ぶ機会になり、自身のスキルアップに繋がったと感じています。

また、背景は様々ですが、患者様や職員の安全・安心、働きやすい職場づくり、看護職員の確保など参加された看護管理者が同じ課題を抱えている事に共感、共有できた有意義な時間となりました。今回の学びと看護管理者の方々との繋がりを大切にしながらウェルビーイングの実現のために、今後も課題解決に取り組んでいきたいと思えます。



看護 管理実践計画 発表会 (R6.11.27)

ナースセンターの活動報告

潜在看護師等の復職支援研修 報告

ナースセンターでは潜在看護師の方々を対象に2日間の研修を実施し、再び看護職として活躍するためのスキルアップや実務サポートを提供しています。最新の医療知識の更新や実技研修に加え、実務研修も可能です。

本年度は7月と10月の2回、計18名の受講があり、「最も不安だった採血等の演習を通じて、少し自信を取り戻した」「しばらく看護の現場から離れているので、このようなセミナーがあることで不安を軽減できた」などの感想をいただいています。また、受講後1名が協力医療機関で3日間の実務研修に臨み、再就職に繋がりました。



ふれあい看護体験2024 報告

本年も「ふれあい看護体験」を夏休み期間に開催し、県内284名の高校生が参加しました。協力医療機関において、看護師の看護実践場面の見学や体験をしました。体験生徒の95%は看護職をやりがいのある素晴らしい仕事だと思い、「看護に対する意識が高まった」「さらに看護師を目指したいと考えた」などの意見をいただきました。(写真提供：JA高知病院)



2024年度 ふれあい看護体験 参加人数・施設一覧(名称一部略)

体験施設	体験人数	体験施設	体験人数	体験施設	体験人数
1 室戸中央病院	1	16 高知厚生病院	1	31 白菊園病院	3
2 あき総合病院	6	17 高知整形・脳外科病院	3	32 高北国民健康保険病院	5
3 田野病院	7	18 高知西病院	6	33 大西病院	2
4 芸西病院	3	19 国立病院機構 高知病院	10	34 須崎くろしお病院	2
5 野市中央病院	4	20 高知赤十字病院	16	35 柳原病院	2
6 南国中央病院	2	21 高知病院	5	36 くぼかわ病院	3
7 JA 高知病院	13	22 三愛病院	4	37 四万十市立市民病院	4
8 愛幸病院	6	23 島本病院	4	38 中村病院	4
9 愛宕病院	4	24 リハビリテーション 藤すこやかな社	4	39 森下病院	4
10 朝倉病院	2	25 竹下病院	3	40 幡多けんみん病院	18
11 いすみの病院	4	26 近森会グループ	35	41 木俣病院	1
12 潮江高橋病院	2	27 土佐病院	3	42 大井田病院	4
13 海辺の杜ホスピタル	5	28 細木病院	10	43 渭南病院	4
14 岡村病院	2	29 もみのき病院	4		
15 高知医療センター	54	30 土佐市民病院	5		
				体験施設数	43施設
				申込総数	352人
				体験者数	284人

また、仁淀病院、松谷病院、竹本病院、一陽病院、嶺北中央病院の方々にも受け入れに向けてご協力いただきました。協力施設のみなさま、ありがとうございました。

令和6年11月より看護補助者の就業支援を始めました。

令和5年に改定された「看護師等の確保を促進するための措置に関する基本的な指針」を受け、看護職と看護補助者との協働を推進するため、看護職に加えて看護補助者の就業支援を開始しました。看護補助者の仕事を知ってもらえるよう11月22日にハローワーク高知と共催で「看護補助者のお仕事説明会」を開催し、仕事内容について、愛宕病院看護補助者・井上麻実氏に説明をしてもらいました。11名の参加があり、後の個別面接で1名就職につながりました。



今後の予定

- 令和7年2月1日(土) 看護職の再就職相談会
- 令和7年2月18日(火) 看護補助者のお仕事説明会(ハローワーク高知)
- 令和7年2月21日(金) 看護補助者のお仕事説明会(ハローワーク四万十)

令和6年度高知県看護協会看護研究学会 ご案内

学会テーマ 【変化が織りなす新たな看護】

開催日：令和7年2月22日（土）9：00～13：00

教育講演テーマ

専門職としての変化への挑戦～change & challenge～

教育講演Ⅰ：高知県訪問看護連絡協議会会長 安岡 しずか 氏

教育講演Ⅱ：日本看護協会会長 高橋 弘枝 氏

座長：高知県立大学看護学部教授 長戸 和子 氏



口演：20演題 示説：5演題の演題発表です。
多くの演題お申込みありがとうございました。

参加申込期限：Kangonotoより令和7年1月31日（金）まで

参加費：会員3,300円 非会員5,500円（抄録代含む）

会場：高知県看護協会会館

公益社団法人日本看護協会 高橋弘枝会長が来高されます！

看護の将来ビジョンについて語っていただきます。

多くの皆様のご参加をお待ちしています。

公式LINEを始めました。
お友達登録、大募集！

研修の最新情報や看護について、タイムリーな情報をお届けします。月2回ほど配信いたします。

お友達登録はこちらから



会員・非会員 どなたでもOK
個人情報の登録はありません。

理事会報告

《第4回理事会》 令和6年9月13日（金）

主な内容

Ⅰ 審議事項

1. 令和7年度通常総会の日程 承認
2. 高知県看護協会規則及び規程の制定及び改正 承認
3. 会館運営積立資金に係る資産取得資金計画 承認

Ⅱ 報告事項

1. 令和6年度都道府県看護協会政策責任者会議の報告
2. 2024年度中国・四国地区別法人会員の報告
3. 2024年度地区別職能委員長会の報告
4. 業務執行理事の職務報告

《第5回理事会》 令和6年11月9日（土）

主な内容

Ⅰ 審議事項

1. 上半期事業報告及び決算 承認
2. 上半期監査 承認
3. 令和7年度改選役員及び定数 承認
4. 会計処理規程の改正 承認
5. 特定資産取得・改良資金である大規模修繕積立資金の統廃合 承認
6. 取引金融機関の廃止 承認

7. 令和7年度日本看護協会会長表彰及び名誉会員推薦 承認

8. 第2回地区支部長会議事 承認

Ⅱ 報告事項

1. 令和6年度地区別法人会員・法人会員連絡会報告
2. 令和7年度奨学金給付事業
3. 業務執行理事の職務報告

《第2回常任理事会》 令和6年10月11日（金）

主な内容

Ⅰ 協議事項

1. 公益社団法人高知県看護協会規程の改正 承認

Ⅱ 報告事項

1. NuPSの進捗状況等
2. 令和7年度新規事業案（高知県看護職員応援システムの構築）

《第3回常任理事会》 令和6年12月13日（金）

主な内容

Ⅰ 協議事項

1. 令和7年度重点事業（案）承認

Ⅱ 報告事項

1. NuPSの開始時期の延期

編集後記

新年あけましておめでとうございます。

交代制勤務の多い看護師ですが、みなさまスケジュール管理はどのようにされていますか？スマホで管理されている方も多いと思いますが、私は手書きの手帳を愛用しております。デジタルでもアナログでも1年振り返った時に楽しかったことや嬉しかったことがたくさんあるといいですね。

皆さまにとって有意義な1年でありますように。

（広報出版委員 国立病院機構高知病院 深木 智与）